

研究講習事業報告

学発番号: 学22-023★(日臨技推進事業)
事業名: 令和4年度 京臨技病理検査講演会(第7回みやこ病理検査講演会)【事前申込制】
日時: 令和5年1月22日(日) 13:00~17:00
場所: webによる講演会
主題1: 臓器写真の撮影技術について
講師1: 竹腰 友博 技師(京都市立病院)
主題2: 臨床検査技師が知っておくべき切り出しの知識と技術 腹部臓器
講師2: 岸本 光夫 技師(京都市立病院)
主題3: 臨床検査技師が知っておくべき切り出しの知識と技術 骨盤内臓器
講師3: 長峯 理子 技師(京都府立医科大学附属病院)
主題4: 臨床検査技師が知っておくべき切り出しの知識と技術 胸部・頸部臓器
講師4: 稲森 理 技師(京都第一赤十字病院)
参加数: 総数:172名(京臨技会員:50名)
報告者: 竹腰 友博(京都市立病院)

以下、講演内容など

「臓器写真の撮影技術について」臓器写真撮影の基礎となる内容でした。デジタルカメラの構造や種類、レンズの種類や収差、ISO感度、絞り、シャッタースピードの関係、補色や構図をかみした撮影などを説明していただきました。

「臨床検査技師が知っておくべき切り出しの知識と技術 消化器」

取り扱い規約を基本とするが、それに縛られることなく、症例に合わせた切り出しが必要であること、ルゴールを用いた病変の検索方法などを、食道、胃、胆のう、膵臓、虫垂、大腸の具体的な症例でご説明していただきました。

「臨床検査技師が知っておくべき切り出しの知識と技術 骨盤内臓器」

切り出しの心得として、一発勝負、広がり、病変、について解説いただきました。膀胱、腎臓、尿管、子宮、卵巣、胎盤の切り出しの際の注意点を解説いただきました。

「臨床検査技師が知っておくべき切り出しの知識と技術 胸部、頸部」

依頼書とともに各症例(肺、甲状腺)を提示いただき、切り出しの仕方、断面の観察解説、組織像の解説をしていただきました。

ZoomによるWEB講演会でありましたが、質問はQ&Aに記載していただき、講師の先生にご回答いただきました。会は、150人以上の出席者であり、盛況でありましたし、無事に定刻に終えることができました。

通常報告